



22  
29

濃美

15  
6673  
54  
早稲田大学図書



安永五丙申歲



祝晨

新しき慈ハ汝  
正門の一修を以テハ  
誠を以テス

帰孝仙

古きこと

新しきこと

鳥の書

亭

長をむくはれらる  
くこの自他もよ  
くはふくくはれハ

蓬菜やむくはれ人の氣もよも 桃水

皆人のやあまあより福壽至 杜翠

え氣や月よりくあお一氣と 桐宇

あつきすりくくやあ日氣 呂翔

吾きてあくくくくきくく 為雅

長ふれやくくくくくくく 如凡

海子ふくくくくくくく 凡石

まひくせしなうくはらも為用 季帝  
初礼やうよそのむもせれくく 呂周  
又母の笑ひ顔くんそ言始 子柳  
右尾けり合もどー門くま 宇那  
雲くく名よらうあてやどの云 石倉  
大娘やかくく名倉の沸あくく 桃里  
おふんやあうてある夢くそくく之 葵由  
唯きけー何とくくそおふ水 卯麦

未  
榮 著

平々恒の春よあふ草庭の  
ひや〜ぬ〜とさあ〜よよちよ  
む〜あ〜る〜子〜柳〜一〜造〜化〜の  
あ〜〜〜あ〜〜ん〜

卯麦

春の尾とあそかく〜てや唐の雪  
雪ハアそん〜一姿は清浄一 西意仙  
何や〜とあそ〜と〜子〜ち〜て 杜翠  
あユウ〜と〜よ〜と〜鏡の小刀 葵由  
ウ  
あ〜と〜あ〜れ〜あ〜と〜あ〜り〜と〜さ〜月〜の 初宇  
あ〜〜よ〜涼〜一 福高の神 呂朔  
あ〜の〜氣〜よ〜あ〜れ〜始〜の〜奇〜麗〜な 桃水  
あ〜ら〜く〜あ〜ら〜の〜謎〜を〜さ〜れ〜く 宇那

つてきり時いさよとめをすしせ 又氣  
さしうきくしんのみ等 呂因  
明とみん 柘里  
うめーやまのきもきと 凡た  
一橋ハ志門とゆふてゆきぬ 為推  
きーいきよきーい 凡 又柳  
お嫁のし根もきよき 吾希  
さくきよ 吾希の雛落 如凡

古短分り一紙

花のさかきよき  
世用の後よき  
しんれい  
きよき  
きよき

五升巻人

ちり連あき

除夜の鐘

京橋活板

